



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 千葉 公

TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,990	△8.4	430	△28.3	555	△18.4	84	—
23年3月期第2四半期	21,826	45.7	600	—	680	—	△944	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 99百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △780百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.99	—
23年3月期第2四半期	△33.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,582	32,103	63.5
23年3月期	57,595	32,202	55.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 32,103百万円 23年3月期 32,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,200	△5.8	740	△78.8	1,000	△72.7	320	—	11.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	30,563,199 株	23年3月期	30,563,199 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	2,400,648 株	23年3月期	2,399,285 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	28,163,143 株	23年3月期2Q	28,167,243 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 主力品の売上高	10
(2) 臨床開発状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復基調にあり、復旧需要の増加などにより設備投資等に持ち直しの動きが見られたものの、雇用・所得環境、個人消費等引き続き厳しい状況で推移し、欧州の金融不安や為替円高等先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、高齢化の進展により医療保険財政が圧迫されるなか、後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の社会的要請は強まり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、生産面においては、震災によりいわき工場の製造設備の一部および立体倉庫が損傷し、製品供給に一部支障を来しましたが、全社一丸となって復旧に取り組み、安定供給体制を確保し、8月から完全稼働いたしました。今後、さらに生産および物流の整備を行い、商品供給の拠点を増設するなど安定的な供給体制の確立に向けて努力してまいります。一方販売面では、中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に適正な医薬情報活動に努めましたが、震災により営業活動が制限を受けたこともあり、売上高は199億9千万円（前年同期比8.4%減）となりました。

医療用医薬品分野では、本年5月に新製品として緊急避妊剤「ノルレボ」、7月には後発医療用医薬品の脳保護剤「エダラボン」を上市いたしました。震災後の既発売品の競争激化の影響により、売上高は181億1千3百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

動物用医薬品分野では、昨年4月に承継した畜水産事業の統合をさらに推進し、相乗効果の発揮に努めました結果、売上高は17億5千1百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は1億2千6百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

利益面では、売上原価率の低減、人件費および研究開発費等経費の減少はありましたが、売上高減少の影響により、営業利益4億3千万円（前年同期比28.3%減）、経常利益5億5千5百万円（前年同期比18.4%減）とそれぞれ減益となりました。また、特別損失として1億1千3百万円（投資有価証券評価損7千2百万円、震災によるたな卸資産の損失等4千万円）計上したことにより、四半期純利益8千4百万円（前年同期は特別損失19億5千5百万円の計上による9億4千4百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ70億1千2百万円減少し、505億8千2百万円となりました。これは主に有価証券及び売上債権等が減少したためであります。

負債につきましては、69億1千3百万円減少し、184億7千9百万円となりました。これは主に短期借入金及び災害損失引当金等が減少したためであります。

純資産につきましては、9千8百万円減少し、321億3百万円となりました。これは主に剰余金の配当が四半期純利益を上回ったためであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から7.6ポイント上昇し63.5%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算発表時の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（売上割戻引当金に関する会計方針の変更）

従来、特約店に対する売上割戻しについては、売上割戻し金額が確定した時点で未払金として計上しておりましたが、前連結会計年度末より、実績割戻率に基づく割戻見込額を売上割戻引当金として計上する方法に変更しております。

これにより、前第2四半期連結累計期間と当第2四半期連結累計期間で売上割戻しの会計処理方法が異なります。

なお、前第2四半期連結累計期間においては、将来の売上割戻し支払額を合理的に見積もることが困難であったことから、前第2四半期連結累計期間の売上割戻引当金については影響額の算定を行っておりません。

（販売促進引当金に関する会計方針の変更）

従来、特約店に対する販売奨励金については、販売奨励金の支払額が確定した時点で未払金として計上しておりましたが、前連結会計年度末より、過去の実績に基づいた見込額を販売促進引当金として計上する方法に変更しております。これにより、前第2四半期連結累計期間と当第2四半期連結累計期間で販売奨励金の会計処理方法が異なる

っております。

なお、前第２四半期連結累計期間においては、将来の販売奨励金の支払額を合理的に見積もることが困難であったことから、前第２四半期連結累計期間の販売促進引当金については影響額の算定を行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,195	4,988
受取手形及び売掛金	9,296	6,221
有価証券	7,188	1,974
商品及び製品	5,136	7,683
仕掛品	909	1,030
原材料及び貯蔵品	2,065	1,775
その他	1,733	1,424
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	31,526	25,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,346	5,211
その他（純額）	8,043	7,589
有形固定資産合計	13,390	12,801
無形固定資産	2,643	2,454
投資その他の資産		
投資有価証券	4,473	4,414
その他	5,619	5,881
貸倒引当金	△122	△121
投資その他の資産合計	9,971	10,174
固定資産合計	26,005	25,429
繰延資産	63	55
資産合計	57,595	50,582
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,761	6,379
短期借入金	3,793	50
未払法人税等	818	50
賞与引当金	1,294	1,259
災害損失引当金	1,328	47
その他の引当金	236	101
その他	2,504	2,465
流動負債合計	16,736	10,353
固定負債		
長期借入金	1,466	1,000
退職給付引当金	6,211	6,323
その他の引当金	291	290
その他	686	511
固定負債合計	8,656	8,125
負債合計	25,392	18,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 197	1, 197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	32, 660	32, 547
自己株式	△2, 308	△2, 309
株主資本合計	32, 394	32, 280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△185	△176
繰延ヘッジ損益	△6	—
その他の包括利益累計額合計	△191	△176
純資産合計	32, 202	32, 103
負債純資産合計	57, 595	50, 582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	21,826	19,990
売上原価	12,304	11,026
売上総利益	9,521	8,964
返品調整引当金繰入額	1	△1
差引売上総利益	9,519	8,966
販売費及び一般管理費	8,919	8,535
営業利益	600	430
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	47	67
不動産賃貸料	106	110
その他	32	24
営業外収益合計	189	209
営業外費用		
支払利息	20	20
固定資産処分損	10	0
コミットメントフィー	23	10
不動産賃貸費用	31	32
その他	23	20
営業外費用合計	109	85
経常利益	680	555
特別損失		
災害による損失	—	40
投資有価証券評価損	842	72
特別退職金	1,113	—
特別損失合計	1,955	113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,275	441
法人税、住民税及び事業税	30	15
法人税等調整額	△317	341
法人税等合計	△286	357
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△988	84
少数株主損失 (△)	△44	—
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△944	84

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△988	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	8
繰延ヘッジ損益	△1	6
その他の包括利益合計	208	15
四半期包括利益	△780	99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△735	99
少数株主に係る四半期包括利益	△44	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,275	441
減価償却費	1,357	1,269
投資有価証券評価損益(△は益)	842	72
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△736	109
賞与引当金の増減額(△は減少)	57	△27
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△672
受取利息及び受取配当金	△51	△74
支払利息	20	20
特別退職金	1,113	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,157	3,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	△657	△2,377
仕入債務の増減額(△は減少)	1,619	△409
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(△は減少)	△208	△163
その他の負債の増減額(△は減少)	946	589
その他	188	△587
小計	2,060	1,266
利息及び配当金の受取額	51	78
利息の支払額	△20	△20
災害損失の支払額	—	△758
事業再編による支出	△89	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	69	△768
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,070	△202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△443	△347
無形固定資産の取得による支出	△747	△157
その他	△207	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,398	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△3,010
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△940	△2,200
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△197	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,138	△4,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△465	△5,017
現金及び現金同等物の期首残高	9,434	11,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,969	6,073

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社グループの報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(平成24年3月期 第2四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成23年3月期		当 期 平成24年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
経皮吸収型鎮痛消炎剤 セルタッチ	44.5	77.7	40.8	72.2	△ 8.3
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	20.0	39.9	23.1	39.1	15.5
高脂血症治療剤 リピディル	20.7	41.9	21.5	42.0	3.9
前立腺肥大症・癌治療剤 プロスタール	15.4	28.7	12.4	25.9	△ 19.5
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	9.6	20.5	9.7	20.1	1.0
消化性潰瘍・胃炎治療剤 アルタット	11.8	22.6	9.2	20.1	△ 22.0
高血圧治療剤 アムロジピン	8.5	18.6	6.9	16.7	△ 18.8
経口避妊剤 アンジュ	6.6	13.6	5.9	13.2	△ 10.6

(2)臨床開発状況

臨 床 開 発 状 況

(平成23年11月現在)

平成23年11月7日
あすか製薬株式会社
東証市場第一部
コード番号 4514

区 分	品 名 (開発番号)	物 質 名 (一 般 名)	領 域・効 能	備 考
承認 (2011年2月23日付)	(SOH-075)	レボノルゲストレル	緊急避妊	㈱そーせいからの導入 (独占販売権取得) 2011年5月24日発売 (ノルレボ錠)
承認 (2011年3月30日付)	(GRS-027)	リピディル(新剤形)	高脂血症	自社開発製剤 2011年12月発売予定 (リピディル錠)
申請中 (2011年1月27日付)	(AKP-004)	アルタット細粒20%	剤形追加	自社開発
PhaseⅢ	(BNP7787)	ディメスナ	抗悪性腫瘍剤(シスプラチン +タキサン系)投与患者にお ける生存期間延長効果	BioNumerik社(米国)からの導入
PhaseⅡ	(GPD-1116)	PDE1/4阻害剤	慢性閉塞性肺疾患及び気管 支喘息	自社開発
PhaseⅠ終了 PhaseⅡ準備中	(L-105)	リファマイシン系の非吸収性抗生物質	肝性脳症 過敏性腸症候群(IBS) クローン病(CD)	Alfa Wassermann SpA(伊 国)より導入
PhaseⅠ	(BNP1350)	カンプトテシン誘導体	悪性腫瘍	BioNumerik社(米国)からの導入
PhaseⅠ	(AKP-002)	PDE9阻害剤	前立腺肥大症に伴う排尿障 害等	自社開発 (アステラス製薬㈱へ導出)
PhaseⅠ	(AKP-001)	p38MAPK阻害剤	炎症性腸疾患	自社開発
PhaseⅠ	(AKP-501)	遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン (rFSH)	不妊症	日本ケミカルリサーチ㈱からの 導入及び共同開発